

日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red

Cross Kyushu International College of

Nursing

マイクロレクチャーと小プラカード：  
映像の流れの中に文字・テキストを構造化して埋め  
込む試み

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 守山, 正樹 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/680">https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/680</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## WB03 マイクロレクチャーと 小プラカード：映像の流れの 中に文字・テキストを構造化 して埋め込む試み



<https://taiwa-act.blogspot.com/2014/01/wb03.html>

皆さん、こんにちは。今回は、この実験的なマイクロレクチャーMicrolecture（オンライン講座）の中で使っている小さなプラカードのお話です。通常のマイクロレクチャーでは、画像としてパワーポイント・スライドを用い、それに音声を載せる方式が多いようです。講師がカメラに映る場合も、黒板に書く手の動きや書かれる説明の画像が中心になります。一方、このマイクロレクチャーは語りかける方式です。映像の中心が顔になるため、圧迫感もあります。そこで雰囲気のを和らげ、また内容のイメージ化を助けるため、小さなプラカードの使用を考えました。

昨日、ブログを始めた初日は、複数の投稿をするため、思いがけず多くのプラカードを作りました。アイデアの元は23年前の本「対話からの地域保健活動」です。この本は、現在、滋賀大学教育学部におられる松原伸一先生との共著です。本の74～75ページには保健行動構造化カードが出て来ます。日々の生活や健康に関連して「行う可能性があることがら」をカードに書き表しました。台紙上にカードを並べると、思考や行動の連鎖を表現できます。しかし台紙がないと使えません。そこで台紙なしにカードを示せるよう、支柱をつけました。

作り方は簡単です。表したい内容を紙に印刷し、ボール紙に貼り付け、切り抜きます。裏側に支柱を貼り付けて完成です。支柱は100円ショップにある綿棒を活用しました。福岡県立女子大学の沖田千代先生からは「小プラカードは分りやすく、ほっこりした気分になる」とのコメントを戴きました。皆さんはどう思いますか。

(守山正樹)